

綱 領

1. われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3. われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新勞

平成29年
10月10日
発行
第238号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区芝大門1-16-11茶乃木ビル5F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
E メール shinro@shinro.org
ホームページ <http://www.shinro.org/>
発行責任者 内海和彦



の判断以上に今の状況を重く深刻に受け止めている。また、更に足元の財政状況だけでなく、今後の経営状況以外もみながら職員処遇に係る様々な環境変化や財政状況の今後の見通しを、例年になく広範囲で将来のありかたを考えながら検討

幹部研修会

36協定の締結の仕方

明治大学法学部 講師 松岡二郎氏



明され、組合としての36協定の捉え方を示されました。また、新聞等で報道されてる勤務医や看護職員の時間外労働を「月三百時間」まで可能にする36協定を結んでいた施設の例について、組合が述べ加えました。

「場環境の実現」と 後保障の充実 施と人材育成

九月十日、十一日の両日、栃木県宇都宮市「ホテルマイステイズ宇都宮」において、平成二十九年度第二回中央委員会が開催された。会議には全国加盟単組より中央委員及びオブザーバー等八十四名の参加のもと、議題の平成二十九年度ペアや年末手当等について慎重な審議が行われた。

また、幹部研修会も同時開催され、「36協定の締結の仕方」をテーマとした講演が行われた。

平成29年度

第二回中央委員会開催

ベア・年末手当等を慎重な審議

を進めたが、未だに有効
答が明示されない状況で
ある。この状況下で第二回
央委員会の開催となりま
したが、活発にして意見を交
してご審議頂きたくよろ
しくお願いいたします。」

■報告事項

○幹部研修会開催
「36協定の締結の仕方」開
治大学法学部講師・松岡一郎氏
【調査部】
○夏期手当の調査実施及
結果報告

審議事項

■審議事項■

一、今年度ベアについて
本社から有額回答のな
現状の中、各ブロック会員
の審議結果が報告され、
を中心、資料に基づいて
本部活動報告が行われた。

次のとおり決定された。
〔統一要求額〕
二十五割十一一律三万呎
〔統一要求日〕本部一任
本部は十月一日(月)
統一要求日に指定。

て。六年制薬剤師の給
について

○今津赤十字病院新労働組合五十周年式典開催の報告と他単組からの祝電・お祝いへのお礼。

アについては今年度要求書
どおり定算込み三・〇%(一
万円)を目指して引き続
き要求していくこととし
た。しかしながら、人事院
勧告の発表される中、本社
からの有額回答が未だ得ら
れていない。今後本社から
の回答内容を、各プロック
代表委員に情報提供を行
い、今後の方針(代表中央
委員会開催・臨時中央委員
会開催・第三回中央委員会
開催時など)を協議してい
る。

○週休二日制推進委員会の
○十月二十八日(土)開催
第一回血液センター部会
について。開催地を福島
県に変更することとし
た。

三、第五十七回定期全国大
会について

会程は平成三十年二月十
八日(日)～二十日(火)、
場所は東京都千代田区「お
茶の水ホテルジュラク」に
て開催予定。大会に先立ち
役員詮衡委員会は第三回中
央委員会時に開催する。

四、その他

○育児休業取得者の期末勤
勉手当について。本社や
各単組でも確認を行う。
○芳賀赤十字病院職員組合
結成四十周年式典につい
て。

—第3回中央委员会—

平成29年12月9日(土)～10日(日)
大津市におの浜 3-2-25

「アヤハレイクサイド ホテル」



